

県立大学「恐竜学部（仮称）」の開設について

1 恐竜学部 恐竜・地質学科（仮称）の開設

- (1) 開設時期： 令和7年（2025年）4月1日
(2) 定員： 入学定員 30名

2 教育・研究の特色

(1) 県立恐竜博物館との連携

- 施設相互利用による物的資源や、研究員等による講義・助言の人的資源の共有
- 博物館内に講義や研究成果の展示を行う「**恐竜オープンラボ**」を開設

(2) フィールド科学の実践

- 県内（勝山ジオパーク、東尋坊、三方五湖等）を中心としたフィールドワークを重視

(3) デジタル技術を活用した新分野の展開

- CTスキャンやVRなどの先端技術を駆使できる**デジタル人材の養成**
- 恐竜や地質に関連したCG映像作成など、新たな観光資源や産業の創出に貢献

(4) 国際的視野に立つ教育・研究

- 連携協定校や教員ネットワークを活用した**海外発掘実習**（タイ・アメリカ）や外国人研究者の講義による語学力・コミュニケーション能力の向上
- 国際学会**を開催し、研究発表等を通して相互交流を推進

(5) 企業等との連携による実学教育

- 広く実社会で応用できる技術を学修するため、実務経験・知見を持つ技術者・研究者等を外部講師として招へい
- 測量設計業協会、情報システム工業会等と連携したインターンシップの実施

(6) 中高大連携

- 勝山の中学校・高校をはじめ、各学校への教員・学生の派遣や、卒業研究発表に生徒が参加するなど、交流を促進し、理科教育・教育研究をレベルアップ

<教育内容>

分野	概要	授業科目例
古生物学	恐竜や恐竜が生きていた時代の他の生物の解明	恐竜学特論 恐竜発掘実習 等
デジタル古生物学	CTスキャン等デジタル技術を用いて化石を非破壊で解析。地層等の野外情報のデジタルデータ化にも応用	デジタル古生物学概論 デジタル古生物研究法実習 等
古環境・古気候学	過去の気候情報が記録された化石の分析などを通して、地球環境の変遷を理解し、温暖化問題にも応用	地球化学実験 地球環境変動学 等
地層学・地質学	野外調査等を通じ、地質や地層の特徴を理解し、減災・防災への対処力も身に付ける	地質調査法実習 災害・防災学 等

<取得可能な資格>

- 高等学校教諭一種免許状（理科）、測量士補、学芸員（※県内で唯一学芸員養成課程開講、県内他大学の学生を受入れ予定）

<想定される就職先等>

- 研究者、教員（理科）、公務員（土木）、博物館学芸員、地質・土木・建設産業、環境アセスメント産業、ジオパークガイドなど自然科学関連の観光業、IT関連産業（測量に関する地質系のデジタル技術産業など）

3 学生選抜方法

入学定員	募集人数					推薦入試等における県内出身者枠 (定員全体に占める割合)
	一般選抜		学校推薦型選抜	総合型選抜	特別選抜	
	前期	後期				
30名	15名	3名	6名	6名 (うち地域枠2名)	若干名	8名(26%)

※選抜方法は検討中であり、認可後に公表

※理系学部平均(19%)

4 施設整備

事業費：約42.4億円

- 学部棟整備（設計・工事監理を含む）：約34.4億円

延床面積： 約4,200㎡
構造等： 鉄筋コンクリート造 3階建て
主な居室： 大型CT室、地質調査室、標本室 等

- 教育研究用備品：約8.0億円

5 今後のスケジュール

令和6年（2024年）	3月	文部科学省へ認可申請
	7月	学部棟建設工事着工（工期：およそ18カ月）
	9月	文部科学大臣認可
令和7年（2025年）	4月	学部開設
	12月	学部棟竣工
令和8年（2026年）	4月	勝山キャンパス開設